

第8回
多可町生涯学習まちづくり委員会

会議録

《概要版》

事務局 多可町生涯学習課

第8回多可町生涯学習まちづくり委員会 会議録

- 日時 令和5年6月14日(水) 午後7時30分～午後9時00分
- 場所 多可町役場 大会議室
- 出席者
- ・委員 8名/12名(敬称略)
 - 近藤 文好 杉本 真 山本 和樹 山本 早希
 - 立岩 一真 遠藤 ひとみ 藤賀 幸子 小寺 祥之
 - ・欠席委員 葛木 伸一郎 小林 一光 石塚 郁 後藤 さおり
 - ・事務局 生涯学習課 課長 藤原 徹
 - 副課長 梅田 一志
 - 副課長 中里 尚子
 - 課長補佐 橋本 行広
 - 理事兼教育総務課長 金高 竜幸
 - 教育総務課 図書館長 依藤 啓子

- 議 事
- (1) コンセプトについての確認
 - (2) まちプラのキャッチコピーについて
 - (3) 愛称の決定方法について
 - (4) 今後のスケジュールについて
 - (5) その他

- 会議結果
- (1) コンセプトについての確認
 (仮称) 多可町生涯学習プラザ建設基本計画答申書における基本理念「地域社会の中でみんなに出番があるように、生涯にわたって知識を深めるための居場所や集える場の整備をめざす」と、①学びの広場、②交流の広場、③表現の広場のイメージをまちプラのコンセプトにすることを確認した。
 - (2) まちプラのキャッチコピーについて
 - ①出席者全員から、キャッチコピーの案や入れて欲しい言葉、思いなどを発表。
 - ②出された意見に全員で投票(1人3票)し、多くの票が集まったいくつかのアイデアからキャッチコピーを検討。
 - ③「できる」「広場」というフレーズや多可町らしさなどを入れるなど、みんなで意見を出し合い、最終的に次のように決定した。

【キャッチコピー】

あなたの「できる」がふえる あっ「たか」広場
～Welcome to ○○○○～
※○○○○には愛称が入る。

(3) 愛称の決定方法について

委員会で決定するのか、公募するのか決を採り、愛称を公募することになった。
公募された作品の中から事務局でいくつかに絞り、それを委員会に諮って最終的な愛称を決定する。

愛称募集は広報 8 月号に掲載する。

(4) 今後のスケジュールの確認

前回、説明したスケジュールから変更になったところがあるため、事務局から 7 月以降のスケジュールを以下のとおり説明した。

7 月 第 9 回委員会（第 2 回ワークショップの日程・企画の協議）

8 月 広報たか 8 月号で愛称を募集、ワークショップ参加者募集

第 10 回委員会（愛称決定）

9 月 第 2 回ワークショップ（内容未定）

第 11 回委員会（運営方法の検討）

10 月 第 12 回委員会（運営方法の検討）

※第 11 回または第 12 回で図書館の運営等について図書館から報告
骨子提出

11 月 第 13 回委員会（提案書取りまとめ、組織化検討）

1 月 提案書提出

(5) その他

第 2 回ワークショップ案として座長案（チラシ）を提示。内容は、①愛称披露、②まち
プラ住民自主企画募集、③フィールドワーク。

次回の委員会で最終的な案を決定する。

■会議の経過

<p>次第 1</p> <p>(座長)</p>	<p>開会</p> <p>あいさつ</p>
<p>次第 2</p> <p>(座長)</p>	<p>コンセプトについての確認</p> <p>まずは先般の会議の中で、このキャッチコピーを考えるにあたって、まちプラのコンセプトをもう一度再確認をしましょうというところがありました。資料1でまちプラのコンセプト、基本理念と①学びの広場、②交流の広場、③表現の広場とあります。これが私的には一番まちづくりプラザの基本的なコンセプトを網羅している形だとは思いますが、ここに多少抜けてるな、もうちょっとこの考え方もこういう発表とか今までの委員会の中でプラスαしておいてほしいなというものがあればまず挙手をいただいてちょっとお話を聞きたいと思いますが、誰かこれ以上にプラス何かある方は。</p> <p>だいたい大丈夫ですか。</p> <p>ないようですね。でしたらまちプラのキャッチコピーの方に入っていきたいと思えます。</p>
<p>次第 3</p> <p>(座長)</p> <p>(副座長)</p> <p>(座長)</p> <p>(A委員)</p>	<p>まちプラのキャッチコピーについて</p> <p>皆さんの方に役場の方からもキャッチコピーをぜひ考えてきてくださいというご無理なお願いも行ったかと思うので、考えてきていただいている方も多数あると思えます。キャッチコピーもずらっと文言で決まっているものもあれば、逆に例えば「この言葉だけはいれてほしい」「このワンフレーズだけはほしいんだ」とかそういう意見もあるかと思えます。それでもけっこうですので、今から順番に発表していただく中で、一人ひとりマイクを回して発表するのがいいのか、紙に書くので事務局の方から発表してもらうのがいいのかとかいうところです。どうしましょう。</p> <p>わいわいするのが。でもあまりそれをすると時間の制約もあるので。</p> <p>とくに皆さん手を挙げてとか順番にいつて、もちろん今日残念ながら思いつかなかったという方ももちろんあると思うので、それはそれで全然かまわないので、とりあえず皆さんの考えてこられたことを発表して、ちょっとそれに対してのどんな思いで考えられたかっていうのもお話をしながら、それをこの黒板の方にキャッチコピーを書いてもらえますか。</p> <p>欠席されている方の分は私が預かっていますので、私の方から行かさせていただきます。</p> <p>マイクを回すのでA委員からいきましょうか。</p> <p>今日はいろんな単語を聞きたいなと思って来たくらいで、とくにキャッチコピーということはないんですけど、こういう取り組みにおいてやっぱり入れてほしいのは「みんなだ」というのは入るのであれば入れてほしいなというのがあります。</p>

あとはこのコンセプトというか、これは建設基本計画のところはもう刷り込まれるようにこれは理解というか入ってるような気がする。あとほんまに思っていることを言っていていいですか。正直な話ですけど、まちづくりプラザができたらどんな場所になったらいいかなと思うのは、まずその場所から東京大学に毎年3人そこで勉強した子が入るということです。そういうふうな施設がいいなって思います。あと宇宙につながるような場所になったらいいなって思います。だから今「天たかく元気ひろがる美しいまち多可町」、「元気ひろがる美しいまち」すごくいいんです。そこに「宇宙につながる元気ひろがる美しいまち多可町」くらいな感じで、ちょっとイメージ図を描いていいですか。

(図書館長)

このすごく豊かな発想の後に。

いちおう職員の方にも今日こういう会議ありますって行って、キャッチコピーといふかなんかあったら行ってねとか言ってまわしたら、職員が一人考えてくれたのと、私も昨日の夜一生懸命考えてみたんですけど、職員が書いてくれたのは「つながりと共感の交差点 未来を切り拓く知と成長の道標」と書いてくれたんです。私が考えたのが「広がる未来、無限の可能性 出会いと創造を育む空間軸」です。

(B委員)

何も考えてないんですけど、この基本理念のところの「居場所」とか「つどえる場」っていうのがいいなと思って。別に何もなくても来たら誰かがおって、そこでちょっと過ごせるみたいな、そんなハードルが高くない、みんなにとってすぐそこにあるというような感じの存在になったらいいなと思ひまして、そういう言葉を入れてみてはどうでしょうという感じです。

(C委員)

すいません。このキャッチコピーの対象はどこになるんですか？建物？

だから建物を表現するコピー、文章ということですか？

じゃあそれは町民のみなさんに伝わらないとダメなんですね。

多可町の人達に伝わる言葉じゃないとダメなんですよ？

キャッチコピーっていうもの自体が私は作ったこともないし考えたこともないからまったく頭がないんですけど、ただまちプラっていうのはこういうところですよっていうのを住民の皆さんに知っていただけるのであれば、幼い子供からお年寄りまで誰にでもわかる言葉で誰にでも伝わる平易な文章が良いと思います。だから私は新しい図書館ができるときに「みんなで図書館へ行こう」みたいな感じがいいんじゃないかみたいに提案したことがあるんですけど、そんな感じでいいかなと「みんなでまちプラ行こう」みたいな感じです。

(事務局A)

僕もいろいろ考えていたんですけども、この基本計画の学びの広場・交流の広場・表現の広場っていうのはすごく良くできているので、そのままでいいんじゃないかなという気もしたんですけど、あえていうなら何もなくても、用がなくても、誰もが行きたくなるような場所になってほしいなというのをすごく思ったので、1個考えたのが「学び、遊ぶ、集いたい場所」というのを考えました。

(事務局B)	<p>ちゃんとした言葉はないんですけど、事務局Aも言ったようにこの3つのコンセプトの言葉がいいなと思うんですけど、どんなふうなキャッチコピーになるにしても、学ぶにしてもプラス憩えて、交流するのはもちろん憩えるんですけど、ホッとできるようなイメージの言葉がいいなと思っています。</p>
(生涯学習課長)	<p>僕は優しい日本語がいいかなと思って。外国人の方もわかったり、そういうような感じがいいかなと単純に思います。</p>
(D委員)	<p>私、まちプラの愛称をずっと考えとっていいの2つ浮かんでるんですけど、今日になってキャッチコピーとコンセプトを考えたんですけども、とにかくウエルカムのイメージとかどうぞいらっしゃいというのと、魅力があるから行きましょとそういうのがいいなと思うんですね。2つあるんですけど一つは「新たな世界が広がる学びと交流のオアシスへwelcome」もう一つは「未来をつくる学びと交流のオアシスへwelcome」です。</p>
(教育総務課長)	<p>すごく難しい言葉が並んでるので、このあれは抜きにして簡単な言葉で僕は考えたんですけど、それこそ「わくわく感いいね」っていう。</p>
(E委員)	<p>私も昭和の人間ですので「そうだ、たかプラへ行こう」を考えてきました。「そうだ、京都へ行こう」のパクリみたいな感じですけど、それで勝手にまちプラじゃなくてたかプラに変えたんですけど、名称も考えてくるようにメールで書いてあったのでたかプラがいいかなと思ったり。この会議にはこの間から参加しただけなので、まちプラのコンセプトがわからなかったんですが、私は図書館の方からできておりますので、その時に多可町の基本計画のところに参加させてもらったときにここは播州歌舞伎がメインなのでみんなの広場じゃなくてみんなの舞台っていう舞台っていう言葉をつけさせてもらった経緯があるので、「みんなの舞台ふれあいを憩いをそして学びを」というように考えてきたんですけど、ちょっと皆さんの流れがわからなかったのでメールだけ見て考えたんですけど、それから多可町の広報を見てましたら、D委員が持っている写真のところに「みんなで創る多くの可能性」ということで多可ってふんでおられて、このキャッチコピーもいいなと思ったんですけど。「みんなで創る多くの可能性」これで多可ですね。このキャッチコピーもなかなかいいなと思って読ませていただきました。</p>
(F委員)	<p>ちょっとわかりにくいんですけど、和らぐっていうかんじの和とつながるっていう意味で輪っかの輪とわははって笑う楽しいみたいな感じでWAのわを広げ学びをつむぐっていうのを考えたんですけど、簡単に言ったらみんな楽しくつながっていくみたいな。それが広がっていったんだん学んでいくような場所になればいいなと思って考えてきました。</p>
(副座長)	<p>私は皆さんほど難しくないんですけど、自分事にすることがまず一番大事かなと思うにあたりまして、学びの広場図書館を中心に、交流の広場語り・つながりを創造する機能、表現の広場多目的ホールを中心に学習成果を発表・表現する機能、これって全部できるっていう言葉にかかってくるなとちょっと思いまして、学ぶ事ができる、表現することができる、話すことができる、すべての人がその場ででき</p>

るっていう自分事として捉えてほしいなと思ひまして、主語と接続詞を悩んでるんですけど、あなたのできるをふやす場所 みんなのできるがふえる場所、あなたのできるをふやす場所 あなたのできるがふえる場所、あなたのできるをみつけようとか基本できるっていう言葉に集約していきたいなと思っております。A委員のこのイメージなんですけど、取り込んだりあがって行くためにはできるを増やさないと上にはあがって行けないのかなというので、ちょっと一緒なのかなと思ったりもしたので、自分事にしてもらおう。それをできるようにしてもらおうような場所っていうので、そういうできるっていう単語をちょっと入れたらどうかと思ひました。

(座長)

ありがとうございます。皆さんいろんな意見をいただいてありがとうございます。欠席されている方のキャッチコピーとして「あそび・まなび・つながり。ひととまちと育つ場所。」遊びと学びはまさに表裏一体。子供から大人までの多世代が利用でき、ルールに縛られない自由な使い方ができること、お互いに学びあえることを表現しています。というような言葉でいただいています。

私の方は「まなび、つどい、つながるあったかハートランド」あったかのたかはひらがななんですけど、多可町の多可です。

(事務局 C)

皆さんの意見を聞かせていただいて、非常にいっぱい考えていただいてどれもいいなと思ってるんですけど、私案では3つの広場もありますし、まちづくりプラザ日本語にすると広場ですので、最後なんとかの広場で終わったらどうか。それだけお伝えしておきます。

(座長)

ありがとうございます。いちおうこれで出そろいました。これからキャッチコピーを決めていくんですが、どれか一つというわけでもなくともいいと思うんです。これとこれと組足したり、文字を変えたり。皆さんのご意見なんかを聞いて「ああ、それいい意見やな」とか思われた方もあると思うので。ちょっとお手間をかけるんですが、机のところに赤丸のシールが3枚貼ってあるのがわかりますか。これを自分がいい意見だとかいいキャッチコピーだと思われたところに貼ってしてもらえますか。多数決ではないんですけど、どのコピーがいいのかなみたいな参考にさせてもらいたいと思ひますので、皆さんちょっと席を立っていただいて、ホワイトボードの方に行っていただいて貼ってもらう作業をお願いします。

(座長)

何かご意見のある方。

(A委員)

フレーズの中に何か多可町の多可町民みんながこう抱く何か共通の何かものが表現されているような。できるというのはその多可の可。多可ってそもそもできるみたいなイメージを膨らませてもいいのかなっていう感じもするし、何かそういうものがあると何か自然と何かそういう言葉で入ってもいいのかなって思ひます。

(座長)

何言うたったんですか。何難しいこと。多可やなあ。

(A委員)

だから多可町はできるんです。

(座長)	できるんやで。
(A委員)	最近思うんですけど、多可町ってむちゃくちゃ良くないですか。ちょっと外れて すいません。な感じで、想いです。
(座長)	空間軸って、意味は
(図書館長)	いやこれコンセプト広場やし違うのにしようかなと思ってひねっただけで、育む 広場でもいいなとか思って、庭園とかね、何か思いながら最後空間って言っただけ なんで。なんせ居心地の良い、さっきみんな言われてたみたいにふらっと来て用事 がなくても立ち寄ってできたらいいかなと思って。いろんな可能性もあるし、学び の舞台とかさっき言われてたものもあるから、そういう意味でいろんなことができ て、出会いもあるし、そこでもいろんな何か作りだして発展していけるかなと思 って、その詰めが甘いところが空間と出ているだけで、何かその一つの軸とい うか何かの中心にまちプラがあって、それを取り巻いて何かみんなが発表したり情報 発信したりいろんなことができる場になったらいいかなっていうのを一晩で考え たのすいません。
(座長)	いえいえ。もう採用は採用なんですけど、そこにどう今A委員が言われた多可町 の部分を放り込もうかなと。そこをちょっと皆さんで考えていただいて。広がる未 来、無限の可能性、出会いと創造を育む…多可の広場？
(副座長)	広場っていう言葉は多分ちっさい子でもなんとなく聞いたことが、遊びに行く とこやみたいなイメージが
(図書館長)	あつまれどうぶつの森みたいな感じからそこに発展したんです。でもそれやっ たらパクリやなと思って
(座長)	集まれ多可の舞台
(座長)	あんまり賛同を得られなかった。 西神中央のなでしこ芸術文化センターのホールなんですけど、図書館も併設して るんですけど一言で「おかえりサロン」なんですね。ただ単に電車の駅があっ て、駅の中にある図書館との複合施設で「おかえりサロン」ってこれすごいなと思 って。そのままやなあみたいな。ただいまって言いそうやもんね。 むっちゃ悩むやん。ここで悩んでたら時間がね。 今日決まればねただ単に、今日決めたかったのは理由は一つなんです。7月の広 報に載せれるなということだけのことなんです。別に載せなくてもいいんで。
(事務局A)	ちょっと補足すると、キャッチコピー決まって次愛称を募集するので、キャッチ コピーはできるだけ早く決まったほうがありがたいのはありがたいです。
(座長)	これをね、キャッチコピーのまあ「広がる未来、無限の出会いと創造を育む空間

軸」もうキャッチコピーの流れとして、ここにかっこして「そうだ、これ愛称になりますけど、例えばたかプラへ行こう」どう？

普通使うのは「そうだ、たかプラへ行こう」

今、私の言った意見は分られましたでしょうか？よろしいでしょうか？

ちょっと書いてもらえますか。

キャッチコピーなんだけどサブキャッチコピーとして広がる未来

(座長)

はい。私の方でちょっと強引かもしれませんが例を出してみました。今の形でサブとメインみたいな形でいきたいと思うんですが、これでキャッチコピーとしていいのかどうか、最終的に決をとりたいと思います。

これでいいという方は拍手をお願いします。

(座長)

何かがあかんの？

(?委員)

熟してないちゃいます。

(座長)

まだ熟すん？時間は熟してきてるんやけど。時間じゃないな。ええもんつくらな。サブはせっかく決まったからそのまま使ってあげたいから。

C委員の言われたわかりやすい言葉というのがいいんですよね。

何かないかな。

(座長)

そらそういう意見も

(座長)

「そうだ、たかプラへ行こう」というのと「みんなでまちプラへ行こう」といのはほぼ同意味やと思うんですね。意味的には。

一言でパッとこれやってというのが何かないですかね。A委員。

(A委員)

ちょっと考えさせてください。

(座長)

一真くんないか。

(F委員)

なかなかピンとこなくて。考えてるんですけど。

(副座長)

無限の可能性っていう言葉はあなたのできると近いものがあるじゃないですか。だからもうちょっと平易な言葉に置き換えることもできるのかなと思って。だから「広がる未来、無限の可能性、出会いと創造を育む」をここにでているもうちょっと柔らかい言葉で置き換えていくことってできるのかなと思って今考えてたんですけど。音の流れが良いとか。

(事務局B)

無限の可能性というフレーズを使うんだったら、せっかくここにD委員のいいキャッチフレーズがあるので、多くの可能性にかえて多可をいれたらどうかと思いますけど。見た目の字だけのことですけど。

(副座長)

広がる未来、多くの可能性、そっちの左下のまなびつどいつながるのあったかい

ートランドの前半の部分は下の 1 行とちょっと似てるかなと思うので、「広がる未来、多くの可能性、まなびつどいつながる広場」とか。

広がる未来、多くの可能性、まなびつどいつながる、左下のあそこの前半をくっつけて、それやったら前半大人向け、後半の言葉は小さい子でもまだ理解しやすい。

(座長) 「広がる未来 多くの可能性」ここでワンフレーズやね。「まなびつどいつながるみんなの広場」どうですか。

D委員、何か意見ありますか。

(D委員) 広がる未来いうて選ばれたやつ、今までの私達のコンセプトというかそれにはもっと適格に書いてあって残したいんですけども、C委員が言われた町民みんなが、キャッチフレーズキャッチコピーやから、覚えるのも大変ですよ。パッと耳に残るというか、短く言えるのがキャッチコピーとしては望ましいのでもっと平易な、あれ残しときたいんですけども、あれはコンセプトとして置いといて、簡単な町民みんな子供達も耳に残って言えるような今出てるようなあれがいいんじゃないかと思うんですけど。

(F委員) この言葉がすごい好きで「あなたのできるをふやす広場 welcome たかプラ」とか。音の感じがすごく読みやすいかなと思って。

(座長) 「あなたのできるをふやす場所 あなたのできるが叶う場所」

(副座長) 主語もみんなのかあなたのか、できるがっていうかそれもできるを増やすやったら自分で頑張る。できるが増えるだったら？ (55:10)

(座長) まず3つくらい言いますので、もう挙手でいきます。

「広がる未来、無限の可能性、出会いと創造を育む空間軸 そうだ〇〇へ行こう」これが1つ。

「広がる未来、多くの可能性、まなびつどいつながるみんなの広場」これが2つ目。

「あなたのできるをふやす場所 welcome〇〇」これが3つ目。

以上で決をとります。

まず1番の「広がる未来、無限の可能性、出会いと創造を育む空間軸 そうだ〇〇へ行こう」これがいいと思われる方は挙手を願います。

2人

2つ目「あなたのできるをふやす場所 welcome〇〇」これがいいと思われる方、挙手を願います。

7人

最後「広がる未来、多くの可能性、まなびつどいつながるみんなの広場」がいい方

	<p>3人 これで人数合ってますか。 では2番の「あなたのできるをふやす場所 welcome〇〇」で決まりました。ありがとうございます。</p>
(座長)	「あなたのできるがふえる場所」
(副座長)	「が」の方が主体。
(座長)	「が」の方がいい? 「あなたのできるがふえる広場」 すみませんね。いろいろ言うて。
(座長)	<p>もう一回最終的に言いますね。 「あなたのできる」がふえるあつ「たか」広場 welcome to 〇〇〇〇」 はい、ありがとうございます。これで決まりました。 3番目のまちプラのキャッチコピーは以上のように決定をさせていただきました。ご協力のほどありがとうございました。7月号広報にも間に合いました。</p>
次第4	愛称の決定方法について
(座長)	<p>次に愛称の決定方法なんですが、今日もすでに愛称の方考えてきていただいている方もおられます。この愛称に関して、このまちづくりプラザのこの委員会の中で決めてしまうのが1つ。住民の方に、いろいろと募集をして公募という形で愛称を求めたらいいかっていうのが2つ目。どちらかだと思うんです。これも多数決でいきます。</p> <p>この委員会の中で愛称を決めてしまったらいいという方は挙手を願います。</p> <p>公募がいいという方は挙手をお願いします。</p> <p>では公募でいきます。</p> <p>公募に関してなんですが、残念ながら今のキャッチコピーは7月に載るスペースはあるんです。確保はできたんですが、7月に愛称募集っていうのを載せるスペースがないんですね。どうしても載せれるとなると8月号になります。ですから8月の広報で募集をかけたいと思います。</p> <p>その募集なんですが、何か取り決めか何かはありますか。</p>
(事務局A)	特に何も考えてないです。
(座長)	とりあえず広報で、また愛称募集のデザイン画をつくられると思うので、それができた時点で各委員の方に前もって配布をしていただいて、それで訂正とか誤字とか追加とかあるかないかいうところを確認してから8月に載せる形をお願いをし

	<p>ます。</p> <p>では、愛称は住民の皆さんに広く募集をさせていただくというところで行きます。最終的に募集をしました。例えば募集期間8月1日からかかるでしょう。決は別にして。じゃあ決定方法はどうかというところになります。1つの案としては愛称がずらっと来ます。多い順番に並べて一番多い数その瞬間に決めてしまうというパターンと、上位5つくらいをピックアップしてこの委員会の中でもう一度再検討をして最終的に決めるという2パターンだと思うんです。</p> <p>もう一番票を多く取ったやつを1番にしたらいいていう方は挙手を願います。</p> <p>いやいや5つくらい、上位もしくはこれいいなって思うのを5つくらい事務局の方で選んでいただいて、その中でこの委員会の中で再度検討をさせてもらう方がいいという方は挙手をお願いします。</p> <p>では、その方向でいきたいと思います。</p> <p>そこらへんも広報でちょっと載せれるという形でお願いします。</p> <p>では、愛称についてはそちらで行きます。</p>
<p>次第5</p> <p>(座長)</p> <p>(事務局A)</p> <p>(座長)</p>	<p>今後のスケジュールの確認</p> <p>今後のスケジュールの確認を事務局の方から説明をお願いします。</p> <p>資料2 A 3の紙を配らせてもらっています。</p> <p>前回の委員会の中で座長の方から今後のスケジュールの説明もあったんですが、ちょっと変わってますのでそのへんを説明させていただきます。委員の皆さんには直接関係あるところといたら、一番上の委員会の開催のあたりワークショップあたりになると思います。見ていただくとわかるように6月のところに今日第8回の委員会開催してます。7月にもう1回委員会を開催させていただいて、9月か8月の終わりこのあたりにワークショップを開催したいと考えてますので、そのへんの日程、企画の内容を協議させていただきたいなというふうに思っています。8月に広報で今度愛称を募集すんですけど、その愛称の決定を8月の終わりか9月の頭くらいの委員会でしたいというふうに考えています。そのあとに愛称決定のお披露目とかフィールドワークとかまだちょっと内容はちゃんと決まっていんですけども、このへんのことをワークショップで9月の中旬にしたいというふうに考えています。そのあと9月の後半、10月あたりでまちプラの運営体制についての検討関係で2回委員会を開催させていただきたい。その2回の内1回は図書館の運営等について説明をちょっとさせていただきたいなというふうに思っています。それを受けまして10月の終わり、11月の頭くらいに骨子を提出させていただいて、それをまとめて1月くらいに提案書を提出するっていうふうにさせていただきます。後半のあたりはまだちょっとどうなるか日程とか変わるかもしれませんが、そういうふうに考えております。よろしくをお願いします。</p> <p>以上のスケジュールで考えてますので、もし何かご質問等あれば今事務局の方をお願いします。</p> <p>7月の委員会になりますが、例えばワークショップを第2回目を開くとなれば、</p>

できればこちらサイドとしては愛称募集とワークショップを合わせてPRを広報でしたいので、7月の上旬を予定する形で考えてます。ですから6月7月と短期間の中である形になってしまいます。ワークショップの内容に関しては次回の会議で皆さんで検討するという形です。あとは運営体制に関しては9月10月2ヶ月ゆっくりかけながらというところです。提案書をまとめて最終1月前半に提案書を出させていただけと。その中で9月、10月どちらでもいいかと思うんですが、まちプラの委員会ですが、新しくこちら来られた時の図書館のどんな図書館になるかなとか、そういうのを検討されていると思うので、ちょっとそこらへんを発表していただいて、委員会の方から何か良い提案があれば皆さんに言っていただく機会を持たらなと思ってます。

もう一つ、こういうチラシがお手元にあります。これが次回の決める会議の内容になります。これはあくまでも私が勝手につくった案です。事務局とも相談せずに。私がこんなワークショップができればいいなっていう意味でつくりました。日にちも未定です。1部で愛称発表を初お披露目して、愛称の名付け親、まあ多数おられるんでしょうけど何人か来ていただいてその想いを発表していただくと。記念品を贈呈する。第2部のあなたのやりたいが叶うっていうのは、これは前回の委員会でベルディーの住民自主企画というものの話を聞きました。そのまちプラバージョンとっていただけたらけっこうです。まちづくりプラザを活用した中で、個人でも団体でも新しいグループでも、何か自分がこんなイベントがしたいとかこんな企画がしたいとかこんな勉強会がしたいとかこんな企画がしたいとかいうのが個人でも団体でもあると思うんですね。その申し込みをしていただいて、それが叶いますよというところです。まだ事務局ともまったくそんな話はしてないんで、これはあくまでも私の個人的なあれですけども、入賞企画は完成初年度からできるか、もしくは前年度にプレオープンでしたいくらいなんですけど、もちろんそこにかかる費用は町が持つというような形で。

どうしても何かしたいとか、例えば子育てグループでも何かでも何かしたいと思った時に先立つものはお金なんですね。それと場所なんです。よく聞かれるんです。県民局でまちづくり補助金を探してきたり、なんやかんやとすることで大変なんですけど、学びと交流と表現のこのまちづくりプラザの中で、例えばAというグループとBというグループが今までつながってなかったのが、何か共催で新しいイベントをしたい。そこに20万円かかるんだったら町が20万円渡しますよと。先払いで。後払いがけっこう負担になるんですよ。そういったのが年に例えば12個企画として通れば新しいまちづくりプラザの売りになるのかな。もちろんまちづくりプラザの自主的な企画もプラスα。もちろんその上に先週図書館まつり、消防署もお世話になりました。ありがとうございます。ああいったまつりも一緒にできる形でしたい。何かそういったのが打ち出せたらなというのが、私が第2部でつくってる。第3部は建築現場がちょうどこの頃になると更地になっている状態かなと思います。北アリーナが解体されて。そこで建設プロジェクト室の方に、こんな感じの建物なんですよという説明をしていただけたら十分時間的にはいいのかなと思ってます。もちろんこの内容はあくまでも私の個人的な案ですから、次回はだいたいこんな感じでこういうワークショップをしたい。こんなワークショップがあれば次につながるよっていうのを皆さんが検討をしてきていただいて、出し合って第2回ワークショップの決定をさせていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

	以上で今回の委員会の方はすべて内容は終わりました。
次第 6 (副座長)	閉会 あいさつ